

# 図書館だより

令和8年5月13日  
港区立港南中学校  
校長 江口 昌之  
学校図書館司書 平賀 玲奈  
学校図書館支援員 新門 理恵



## 5月号



みなさん、新生活には慣れてきましたか。少し疲れも出てくる時期です。体調管理に気をつけて過ごしてくださいね。

今月のおすすめの本は、読んだ後に心が温くなる本を紹介します。ぜひ読んでみてください。

### 5/10 愛鳥週間の始まりの日

10日から16日までが愛鳥週間です。

野鳥が活発に動くようになる季節に、野鳥を保護して自然に親しむために制定されました。

引用 『きょうは何の日?366日』清水洋美/著 横山洋子/監修(世界文化社)376/シ

今年は5月10日(日)~16日(土)です。

### 5/16 旅の日



1689年のこの日、松尾芭蕉は弟子の曾良とともに江戸を出発、東北と北陸の各地をめぐる旅に出ました。それを記念して日本旅のペンクラブが制定しました。156日におよぶ旅の中で、折にふれてできごとをまとめたのが『奥の細道』です。

引用 『きょうは何の日?366日』清水洋美/著 横山洋子/監修(世界文化社)376/シ

『おくのほそ道』は古典コーナーにあります。

1人3冊まで、2週間借りられます。

借りた本は、期限を守って返却してください。



## 五月のおすすめ本

### 『きみの話を聞かせてくれよ』

村上雅郁/著 (913/ム)

中学校を舞台に7章7人の主人公によって紡(つむ)がれる短編集です。読む人が登場人物の誰かに共感できるようなお話です。まず1話目は仲良しだった友人とちょっとしたことで仲違いをしてしまい、同じ学校同じクラスで過ごしているのに、心が遠くなってしまったと感じている中学2年生の女の子が主人公。教室でも部活でも孤立してしまった女の子は、なぜ仲直りのチャンスを逃さず向き合えたのでしょうか。

「もやもやした気持ちや、ずっと抱えてきた秘密」をただそばにいて聞いてくれる誰かに救われることもあると思います。読み終わったあと、ふわっと心が軽くなるそっと寄り添うような作品です。



### 『今日も誰かの誕生日』 二宮敦人/著 (913/ニ)

この本は「ある日の誰かの、バースデー・ストーリー」が6つ載っています。

「さんざんだった誕生日」では、誕生日に腹痛に襲われる青年の話。心の持ちようによって、自分の周りのとらえかたが変わっていきます。

どの話もこのような誕生日もいいなと思える物語です。誰かにとっての特別な一日を読んでみませんか。

